

大山祇神社 御中

令和7年7月吉日
公益社団法人 日本船舶海洋工学会
会長 鈴木 英之

第9回ふね遺産認定のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日本船舶海洋工学会は創立120周年を機に、2017年から「ふね遺産」認定事業をスタートさせました。

歴史的で学術的・技術的に価値のある船舟類およびその関連設備を「ふね遺産」（Ship Heritage）として認定し、社会に周知し、文化的遺産として次世代に伝えるとともに、「ふね遺産」を通じて国民の「ふね」についての関心・誇り・憧憬を醸成し、歴史的・文化的価値のあるものを大切に保存しようとする気運を高め、我が国における今後の船舶海洋技術の幅広い裾野を形成することを目的としています。

ふね遺産候補を学会誌やホームページなどで一般公募し、応募案件を学識経験者で構成される、ふね遺産審査委員会（令和7年5月19日開催）において審査した結果、庄司邦昭様（ふね遺産認定実行委員会委員）、小堀信幸様（船の科学館）からご推薦いただきました御採取船「葉山丸」を、「旧横須賀海軍工廠で建造された昭和天皇の御採取船」として他の4件とともに、ふね遺産に認定することとなりました。

認定されたふね遺産は今後、学会誌「KANRIN」やホームページで社会に広く発信させていただきます。また、令和7年9月24日に東京で認定式を行い、認定書および認定プレートを贈呈させていただく予定です。認定式の詳細につきましては、別途ご案内いたします。

なお、本認定事業は学会として学術的観点から行うもので、法的拘束あるいは保存維持経費などの支援を直接行うものではないことを申しそえます。

敬具

スカンジナビア資料館 御中

令和 7 年 7 月 吉日
公益社団法人 日本船舶海洋工学会
会長 鈴木 英之

第 9 回ふね遺産認定のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日本船舶海洋工学会は創立 120 周年を機に、2017 年から「ふね遺産」認定事業をスタートさせました。

歴史的で学術的・技術的に価値のある船舟類およびその関連設備を「ふね遺産」(Ship Heritage) として認定し、社会に周知し、文化的遺産として次世代に伝えるとともに、「ふね遺産」を通じて国民の「ふね」についての関心・誇り・憧憬を醸成し、歴史的・文化的価値のあるものを大切に保存しようとする気運を高め、我が国における今後の船舶海洋技術の幅広い裾野を形成することを目的としています。

ふね遺産候補を学会誌やホームページなどで一般公募し、応募案件を学識経験者で構成される、ふね遺産審査委員会（令和 7 年 5 月 19 日開催）において審査した結果、前島希久也様（海のステージ内スカンジナビア資料館）、朝倉 一哉様（有限会社シーフロント）からご推薦いただきましたスカンジナビア（旧ステラ・ポラリス）を、「レジャー産業の創設と地域振興に貢献した日本初のフローティングホテル・レストラン」として他の 4 件とともに、ふね遺産に認定することとなりました。

認定されたふね遺産は今後、学会誌「KANRIN」やホームページで社会に広く発信させていただきます。また、令和 7 年 9 月 24 日に東京で認定式を行い、認定書を贈呈させていただく予定です。認定式の詳細につきましては、別途ご案内いたします。

なお、本認定事業は学会として学術的観点から行うもので、法的拘束あるいは保存維持経費などの支援を直接行うものではないことを申しそえます。

敬具

NPO 法人帆船やまゆり保存会 御中

令和 7 年 7 月 吉日
公益社団法人 日本船舶海洋工学会
会長 鈴木 英之

第 9 回ふね遺産認定のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日本船舶海洋工学会は創立 120 周年を機に、2017 年から「ふね遺産」認定事業をスタートさせました。

歴史的で学術的・技術的に価値のある船舟類およびその関連設備を「ふね遺産」（Ship Heritage）として認定し、社会に周知し、文化的遺産として次世代に伝えるとともに、「ふね遺産」を通じて国民の「ふね」についての関心・誇り・憧憬を醸成し、歴史的・文化的価値のあるものを大切に保存しようとする気運を高め、我が国における今後の船舶海洋技術の幅広い裾野を形成することを目的としています。

ふね遺産候補を学会誌やホームページなどで一般公募し、応募案件を学識経験者で構成される、ふね遺産審査委員会（令和 7 年 5 月 19 日開催）において審査した結果、河村久様（NPO 法人帆船やまゆり保存会）からご推薦いただきました帆船「やまゆり」を、「東京オリンピック（1964 年）に向けて建造され、今なお海洋思想普及に活躍する 2 本マストの木造帆船」として他の 4 件とともに、ふね遺産に認定することとなりました。

認定されたふね遺産は今後、学会誌「KANRIN」やホームページで社会に広く発信させていただきます。また、令和 7 年 9 月 24 日に東京で認定式を行い、認定書および認定プレートを贈呈させていただく予定です。認定式の詳細につきましては、別途ご案内いたします。

なお、本認定事業は学会として学術的観点から行うもので、法的拘束あるいは保存維持経費などの支援を直接行うものではないことを申しそえます。

敬具

明石市市民生活局文化・スポーツ室 御中

令和 7 年 7 月 吉日
公益社団法人 日本船舶海洋工学会
会長 鈴木 英之

第 9 回ふね遺産認定のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日本船舶海洋工学会は創立 120 周年を機に、2017 年から「ふね遺産」認定事業をスタートさせました。

歴史的で学術的・技術的に価値のある船舟類およびその関連設備を「ふね遺産」(Ship Heritage) として認定し、社会に周知し、文化的遺産として次世代に伝えるとともに、「ふね遺産」を通じて国民の「ふね」についての関心・誇り・憧憬を醸成し、歴史的・文化的価値のあるものを大切に保存しようとする気運を高め、我が国における今後の船舶海洋技術の幅広い裾野を形成することを目的としています。

ふね遺産候補を学会誌やホームページなどで一般公募し、応募案件を学識経験者で構成される、ふね遺産審査委員会（令和 7 年 5 月 19 日開催）において審査した結果、池田一峰様（明石市市民生活局文化・スポーツ室）からご推薦いただきました明石型生船に関する歴史・造船資料一式を、「大きなシーラインを有し、7,000 隻余りが建造された活魚運搬船に関する歴史・造船資料」として他の 4 件とともに、ふね遺産に認定することとなりました。

認定されたふね遺産は今後、学会誌「KANRIN」やホームページで社会に広く発信させていただきます。また、令和 7 年 9 月 24 日に東京で認定式を行い、認定書および認定プレートを贈呈させていただく予定です。認定式の詳細につきましては、別途ご案内いたします。

なお、本認定事業は学会として学術的観点から行うもので、法的拘束あるいは保存維持経費などの支援を直接行うものではないことを申しそえます。

敬具

堺市博物館 御中

令和 7 年 7 月 吉日
公益社団法人 日本船舶海洋工学会
会長 鈴木 英之

第 9 回ふね遺産認定のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日本船舶海洋工学会は創立 120 周年を機に、2017 年から「ふね遺産」認定事業をスタートさせました。

歴史的・学術的・技術的に価値のある船舟類およびその関連設備を「ふね遺産」(Ship Heritage) として認定し、社会に周知し、文化的遺産として次世代に伝えるとともに、「ふね遺産」を通じて国民の「ふね」についての関心・誇り・憧憬を醸成し、歴史的・文化的価値のあるものを大切に保存しようとする気運を高め、我が国における今後の船舶海洋技術の幅広い裾野を形成することを目的としています。

ふね遺産候補を学会誌やホームページなどで一般公募し、応募案件を学識経験者で構成される、ふね遺産審査委員会（令和 7 年 5 月 19 日開催）において審査した結果、小嶋良一様（関西設計株）からご推薦いただきました元禄菱垣廻船模型を、「元禄 5 年に奉納された現存するもっとも古い弁才船模型」として他の 4 件とともに、ふね遺産に認定することとなりました。

認定されたふね遺産は今後、学会誌「KANRIN」やホームページで社会に広く発信させていただきます。また、令和 7 年 9 月 24 日に東京で認定式を行い、認定書および認定プレートを贈呈させていただく予定です。認定式の詳細につきましては、別途ご案内いたします。

なお、本認定事業は学会として学術的観点から行うもので、法的拘束あるいは保存維持経費などの支援を直接行うものではないことを申しそえます。

敬具